

お茶会だより 4月号

R4. 4. 27(水)



ぞう組に進級し、期待に胸をおどらせて過ごしている子ども達。楽しみにしていたことの一つにお茶会があります。今度は、僕たち、私たちの番!!と意欲的に参加して第一回のお茶会となりました。

茶道を通して「感謝の心、思いやりの心、我慢する心」を育んでいきたいと思ひます。

==== お茶の先生 茶道裏千家淡交会 準教授 =====

植田 幸子 先生 (茶名~ 宗幸)

==== 一年間 子ども達の指導をして下さいます。 =====



お床拜見で植田先生のお話を聞き、静寂の中でお点前拜見。初めて見る植田先生のお点前。その動作一つ一つを、まるで息をするのを忘れていたかのように見入っていました。

お稽古では、立ち振る舞い、作法を学んだり、水屋を初体験したりしました。指すじや指先を伸ばすこと、お話をしている人の顔を見て話を聞くことなどお茶会だけでなく、普段の生活においても大切になってくることばかりで良い学びの機会となりました。生活の中で意識して正していけるよう見守っていただきたいですね。

子ども達からは「楽しかった。」「抹茶がおいしかった」「正座が大変だった。」など色々な感想が聞かれました。これから一年間、ほどよい緊張感の中で茶道にふれ、観望していきたいと思ひます。

【今月の床の間】



《掛け軸》「にこにこ にっこり ごあいさつ」

いよいよ憧れのお茶会の始まりです。

何事もあいさつが大事になってくるといふことで、この掛け軸を選んで下さいました。



《茶花》「ボケ・ニリンソウ」

《お菓子》「バウムクーヘン」



《香合》「さくら」

【お茶会の様子】

初めて見るお点前。植田先生の

美しい動きに見入っていました。



植田先生の着物姿
素敵だなあ。



感謝の心を大切に



お菓子をどうぞ！



美味しく
飲んでくれるかな？

日常生活の中でも姿勢に気を付けていながら、また来月のお茶会で植田先生とお会いできるのが楽しみです！